

2019年05月30日

会員研修会 スキルアップ講習 静岡県伊豆市土肥会場  
報告書

報告者：サニーコーストカヤックス  
本橋 洋一

**【開催概要】**

日 時：2019年05月27日（月）

場 所：静岡県伊豆市 土肥海水浴場、米崎周辺海域

参加者：3名

セントラルスポーツ アウトドアビレッジ THE101 スタッフのみ

（※全員カヤックベーシック インストラクター・ガイド）

講 師：サニーコーストカヤックス 本橋（主管）

**【研修内容】**

- ・ベーシックインストラクター向けのスキルアップ講習
- ・安全管理に関する意見交換

**【所感】**

- ・昨年に引き続き呼んでいただいてスタッフ研修を実施した。ダイビングが主たる事業となるので安全管理について非常に意識が高いと感じさせられた。
- ・新プログラムの造成にあたり、フィールドのチェックも一緒に実施した。出艇場所、休憩ポイント、エスケープルート、コース距離、波風の影響、中止基準など、実際に現場を一緒に漕ぐことで様々な気付きがあり、プログラムのブラッシュアップにつながったと思う。
- ・研修中、シーカヤックに乗ってもらった。普段の業務で使用しているのはシットオンとSUPだが、艇種の違うカヤックに乗ることで別の視点から技術的な気付きを得やすいように工夫して講習を進めた。
- ・安全管理規程の見直しを行った。せめて年一回は規定内容を再確認し、改訂を繰り返してクオリティを高めていくといただろうとアドバイスした。

○安全管理に関するミーティング 10：00～12：00

「メディカルチェックシート」「参加同意書」の確認、ブラッシュアップ。

ファーストエイドキットなど携行品の情報共有。

○新プログラム造成のための下見ツーリング 13：00～15：00



シットオンカヤックを使用するシュノーケリングも含めた半日ツアー。

場所はダイビングスポットでもありフィールドそのものはスタッフも熟知しているが、カヤックで漕いで行く場合に想定されるリスクの洗い出しを一緒に行った。

海況によりうねりの影響を受ける場合もあるフィールドなので、中止基準の設定、出艇・上陸補助の仕方なども練習した。

この日は岸から離れた場所では 1.0～1.5mのピッチの短い波があったので、わざとそこを漕ぐことで自身のスキルを再認識してもらった。

○レスキュートレーニング 16：00～17：30



場所を移動し、店舗前で実施。

艇種の違うカヤックでの再乗艇を全員にやってもらった。使用したのは前後に隔壁のあるシーカヤック。

違いを理解することで全員成功しただけではなく、シットオンカヤックの特徴にも理解が深まったと思う。

また、ライフジャケットの前面にロープやナイフを装着していたが、シットオンなら再乗艇

の邪魔にならないかもしれないが、シーカヤックでは馬乗りして姿勢を低くしたままデッキを這う時に邪魔になるという気付きがあったので、今まで気にしなかった当たり前のことも視点を変えることでリスクだと気付くことができたようだった。



普段使用しているシットオンでもセルフレスキューのトレーニングを実施した。先般参加した平戸での「フィッシングカヤック研修会」時に学んだ小技を共有できた。最後にロール講習も行った。時間の関係もありさわりだけとなったが、普段シットオンを使用しているベーシックインストラクターには業務上必要のないテクニックではあるが、技術のレベルアップ、アップデートはプロとして持つべきモチベーションだろう。

○「安全管理規程」ブラッシュアップ 19:30～20:30

食事をしながらとなったが、なかなか見直す機会がなかったという「安全管理規程」を一緒に再度チェックしてみた。

今回、新しいプログラムを造成するにあたり、中止基準の記載をどうするかという点では、活動フィールドごとに基準を分けて考え、記載方法も表にしたりするなどスタッフ自身が見やすく分かりやすくするといいたいだろうとアドバイスした。

その他、携行品の見直し、気象情報サイトの修正なども行った。

今後もベーシック検定を実施する検定員の一人として、フォローアップ活動を係属していきたい。

以上